

第 10 号
発行 JA吉田総合病院
広島県安芸高田市吉田町吉田3666
TEL (0826) 42-0636
FAX (0826) 47-0007

あおぞら
秋号

青空

■ホームページ <http://www.hirokouren.or.jp/yhindex.htm>



当院精神科開放病棟は平成15年に新しく建設された西館の2階に位置しています。広くて明るい療養環境を考えた病棟で(定床58床)開放感あふれるフロアや癒しの大浴場にリフト浴室、ベッド間隔ゆつたりの病室が柔らかな空間を生み患者様

にとつて安心できるアメニティを考慮した構造が自慢の病棟です。このような恵まれた環境の中で、精神科医師3名、看護師18名のスタッフは精神療法、薬物療法、作業療法が効果的に行われるよう生活療法センターの作業療法士、作業療法助手、薬



7
1
2
病棟
紹介



7-2病棟 科長
森川 洋子



ナースセンター

1. 「心を病む患者様にとつて十分な休息の場」
現代の社会生活は自分のペースを保ち難く、ストレスを解消できずに悩む人が増加しています。患者様が安心して自分のペースを取り戻せ、前向きな思考が回復できるよう穏やかで静かな空間を提供いたします。

2. 「社会生活リハビリテーションの場」
患者様の多くは慢性症状を呈し長期の入院となつています。そこで社会での生活がイメージできるよう、OT(作業療法)やSST(生活技能訓練)のプログラムを取り入れています。さらに入院中の就労訓練、金銭管

3. 「身体合併症の治療の場」
総合病院の機能としてターミナル期の患者様にも本人、家族の希望を尊重した穏やかな環境を提供しつつ各診療科や閉鎖病棟と共に連携をとり繊細なメンタルケアと、高度な医療技術を提供いたします。

4. 「家族介護支援の場」
患者様を支援していただく家族の方と受け持ち看護師との関わりをもちコミュニケーションを大切にしています。長期入院患者様の家族介護者を対象に、患者様の療養の様子をお知らせする「ナースセンター便り」を送付し情報提供に努め、返信を受け取ることで意見の尊重に心がけています。また自宅介護が困難な認知症患者様の家族へは施設入所へのクッション的な役割を提供しています。

5. 「癒しと気分転換の場」
病棟レクレーションや季節に合った行事を通して楽しい時間の共有を図っています。節分の会、ひな祭り、夏祭り、運動会、クリスマス会のほか日帰り小旅行も企画され、患者様の状態に合わせて参加していただいています。

剤師、栄養士、MSWまた地域の保健福祉に携わっておられる方々と常にチーム医療を意識し患者様を支援したいと考えています。そこで看護チームは「患者・家族の意見を尊重した看護が表現できる」を今年度の看護目標に掲げました。その一つとして患者様本人、ご家族参加カンファレンスの企画運営、受け持ち看護師と家族の方とのメッセージ交流の推進などの活動に力を入れ、少しずつではありますが高い評価をいただいています。そんな病棟の支援体制を患者様の療養の視点から紹介させていただきます。

理指導、服薬指導など個別性を重視した社会復帰のお手伝いをいたします。

理指導、服薬指導など個別性を重視した社会復帰のお手伝いをいたします。

昨日、精神保健福祉法の改正、個人情報保護法の施行に伴い、精神科病棟としてのあり方が問われています。私たちは患者様の権利を最優先に考え前記の支援に取り組み、信頼される医療を目指したいと考えています。

昨日、精神保健福祉法の改正、個人情報保護法の施行に伴い、精神科病棟としてのあり方が問われています。私たちは患者様の権利を最優先に考え前記の支援に取り組み、信頼される医療を目指したいと考えています。

昨日、精神保健福祉法の改正、個人情報保護法の施行に伴い、精神科病棟としてのあり方が問われています。私たちは患者様の権利を最優先に考え前記の支援に取り組み、信頼される医療を目指したいと考えています。

昨日、精神保健福祉法の改正、個人情報保護法の施行に伴い、精神科病棟としてのあり方が問われています。私たちは患者様の権利を最優先に考え前記の支援に取り組み、信頼される医療を目指したいと考えています。

脳神経外科
診療科
紹介



沖田 進司
脳神経外科主任部長



脳神経外科を紹介します。常勤医師は、私、沖田進司（昭和56年卒）の1名で、平成12年7月に当院に赴任して満5年が経過しました。急患や急変の多い脳神経外科で入院・手術を含めた診療を1名で行うのはなかなか大変ですが、安芸高田市唯一の脳神経外科として多くの方に応援して頂きながら頑張っています。1日平均の患者数は外来25名、入院10名で、手術は年間約30件実施しており、開頭術も他院の脳神経外科医や当院外科医の応援を受けて行っています。

また、非常勤医師として、ピハ一ラ花の里病院の伊藤聖先生に毎月2回（原則として第2、4月曜日）、神経内科の診療を担当して頂いています。神経内科の対象疾患は、脳神経変性疾患や末梢神経疾患、筋変性疾患や重症なパーキンソン病等です。総合病院で神経内科の専門医に受診できる病院は県北部や近隣では当院しかなく、患者様は、広島市内中心部まで

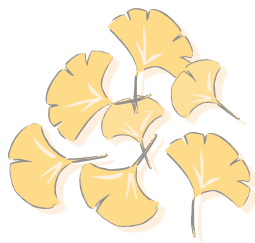
通院する必要がなく、喜ばれています。そのため、患者様が大変多く、初診患者様は紹介状をお持ちの方に限らせて頂いている状況ですので、受診される場合には、かかりつけ医からの紹介状をお持ちいただけますようお願いいたします。（紹介状をお持ちでない場合は、まず沖田が診察し神経内科領域と思われる方に受診して頂いております。）

当科の誇る外来スタッフは、看護師の上川さんとクラークの潮さんです。お二人はいつも落ちついて待合室と診察室の両方に目を配り、高齢の患者様には優しくゆったりと対応しながら救急の患者様にはテキパキと処置を進めています。このように、患者様の状況に応じた対応が可能で、当科にまさに打ってつけです。

当科の対象となる主な傷病は、皆様ご存知の通り、脳血管障害（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血など）、頭部外傷、各種の脳腫瘍、頭痛などですが、特徴としては脳卒中や交通事故などのように、救急診療が必要な傷病が多いことです。その点、脳神経外科の外来は救急車での搬入や、診断に必要なCT室やMRI室などへ一直線で移動できる有利な場所に位置しています。

医師は私1名ですが、脳の疾患は一刻を争うことが多く、救急の患者様をできるだけ受け入れるようにしています。そのため、外来中に救急の患者様が搬入された場合、処置が一段落するまでは一般の外来患者様にはお待ち頂くことになり、ご迷惑をお掛けすることもありますがご理解を宜しくお願いします。

以上、簡単ですが脳神経外科について紹介いたしました。今後とも、微力ながら、少しでも皆様のお役に立つよう頑張りますので、宜しくお願いします。



潮さん 沖田主任部長 伊藤医師 上川看護師

スタッフ紹介





手術室・中央材料室 だより

「手術を受けられたことがありませんか?」
と聞いて「はい」と応えらるる方は少ない
と思います。いつも皆さんの目に見えな
いところが中央材料室・手術室です。
病院本館の2階にあり、その中で私たち
は滅菌・消毒業務と手術看護業務に携わっ
ています。

中央材料室では、処置に使用した器械類
の洗浄・滅菌と衛生材料の作成などを行っ
ています。器械や材料は患者様に直接使用
するもので、充分滅菌が出来ていないと感
染を起こし重大な負担をおかけすることに
なりますので安全な滅菌物を提供するため
に細心の注意を払って、包装や滅菌器の保
守点検を行って作業をしています。



手術室では年間約1,000例
の手術を受けられる患者様の傍
で身の回りのお世話、医師の介
助を行なっています。手術室看
護師は患者様と関わる時間が短
く、「コミュニケーション」を取る
時間もありません。その上マス
クで顔を隠していますので顔も
すっかり覚えてもらえないので
すが、患者様にとって手術は重
大な出来事で、心の中は手術へ
の恐怖・麻酔が覚めるのかしら
という不安・術後に痛みがひど
いのではないかしらなど様々な
心配事ではちきれそうになっ
ていらつしやると思っています。その
不安や恐怖を最小限にすること
が私たちの役割です。

今年度の手術室目標を「安
全・安楽な手術室看護を実践す
る」とし、安心して任せてい
ただけるように手術に関する知識
や技術を向上させるために研修
会を行ったり、手順書を作成し
統一した看護が出来るようにし
ています。患者様一人一人に合
った看護をしていくために、入
院されて手術を受けられる患者
様を対象に手術前訪問をしてい
ます。前日に手術室看護師が病
室にお尋ねして手術室の概要
や、手術・麻酔の時の体位な
どの説明をし、患者さまの不安
や要望を聴き、受け止めていき
ます。訪問の時に担当看護師の
顔を覚えていただくことで安心

病院祭開催について

『みつめよう健康と福祉』

をテーマに第8回病院祭・第17回のぞみ祭
を下記の日程により開催いたします。

10月15日(土) 10時～

プログラム

- ・船佐太鼓 (船佐小学校)
- ・バルーンアート
- ・堤 友彦コンサート
- ・高猿神楽団
- ・大抽選会 (北海道旅行ほか)

その他、
無料体験コーナー、
福祉施設コーナー
など盛りだくさん
のイベントを用意
して皆様のご来院
をお待ちしてい
ます。

して手術室に入室していただ
くと考えています。手術室は直
接患者様の体の中に器械を入
れたりしますので環境が汚れてい
ると感染を起こすことになるの
で毎日掃除に始まり掃除に終わ
る日々を送り、感染予防にも注
意を払っています。また、1人
の患者様の手術には各科医師・
麻酔医・看護師関わっています
ので、チームワークをうまく
取ることで手術の流れもスムー
ズになってきます。お互いが自
分の役割が果たせるように協力
します。

し合うことで患者様の手術によ
る侵襲を少なく出来ることに繋
がっていきます。そして手術室
だけの看護にしないように、お
送りするときに病棟看護師に引
継ぐことも重要になります。入
院生活の中での大きな出来事に
関わらせていただける喜びを持
って、飛び切りの笑顔でお迎え
し、送り出せるように、「吉田
総合病院の手術室で手術して良
かったよ」という言葉を聞ける
よう、スタッフ一同努力してい
ます。

当院の基本方針

- ① やさしい心で安全・良質な医療・保健・福祉サービスを提供します。
- ② 医療を受ける人びとの人格、権利を尊重し、全ての人に貢献します。
- ③ 生涯学習の精神を保ち、知識と技術の習得に努めるとともに、医療の質向上に尽くします。
- ④ 努力と協調で健全経営に努め、明るい職場をつくりまします。
- ⑤ 病院の公共性を重んじ、事業を通じて地域に尽くすとともに、法規範を遵守します。

当院の基本理念

- ① 私たちは何人にも平等に医療を提供します。
- ② 私たちは地域の基幹病院として、最良の医療を提供します。
- ③ 私たちは納得と同意のもとに信頼される医療を提供します。

吉田総合病院

診療案内

受付時間 月曜～金曜 8:30～11:30
2005年10月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	加藤博也	小武家俊哉	川本雅英	小武家俊哉	川本雅英
	2 診	鼻岡新治	濱田雅典	江木康夫	鼻岡新治	濱田雅典
	3 診	原田和歌子	鼻岡新治	古川正愛	古川正愛	加藤博也
	4 診	大月知文	江木康夫	大月知文	原田和歌子	大月知文
	新患外来	川本雅英	加藤博也		川本雅英	江木康夫
	腹部工コ一	濱田雅典	原田和歌子	鼻岡新治	江木康夫	小武家俊哉
	胃内視鏡	江木康夫	川本雅英	原田和歌子	加藤博也	原田和歌子
		小武家俊哉	古川正愛	濱田雅典	川本雅英	鼻岡新治
UCG		大月知文		大月知文		
小児科	診察	一般外来 (1診:守屋 真・2診:米倉圭二)				
	※午後外来受付 慢性疾患外来 (火) 14:00～15:30 予防接種<BCG以外> (月・金) 14:00～15:30 乳児検診 (水) 14:00～15:00 予防接種<BCG> (水) 15:00～15:30] 要予約					
外科	1 診	住元一夫	繁田直史	児玉真也	繁田直史	住元一夫
	2 診	大森一郎	児玉真也	大森一郎	大森一郎	繁田直史
	3 診 (工コ一)	田澤宏文	奥田浩	田澤宏文	田澤宏文	児玉真也
	4 診			奥田浩		奥田浩
外脳神経科	診察	沖田進司	沖田進司	沖田進司	沖田進司	沖田進司
	※神経内科 第2・第4月曜日:伊藤 聖					
整形外科	1 診	竹本正瑞	定地茂雄	竹本正瑞	梶川和徳	竹本正瑞
	2 診	定地茂雄	梶川和徳	梶川和徳	角西寛	定地茂雄
	3 診	水野尚之	角西寛	角西・水野		水野尚之
眼科	診察	調枝寛治		戸田良太郎		戸田良太郎
	※午前外来受付 10:30まで					
耳鼻科	1 診	佐藤克至	佐藤克至	佐藤克至	佐藤克至	佐藤克至
	2 診	非常勤医師		非常勤医師		非常勤医師
	午後	一般外来 (1診のみ)	手術	一般外来 (1・2診)	検査・手術	手術
	※午前外来受付 (火曜日・金曜日) 11:00迄 ※午後外来受付 14:00～15:30					
婦人科	診察	岩沖靖久	岩沖靖久	岩沖靖久	岩沖靖久	岩沖靖久
	※午後外来受付 (水曜日のみ) 13:30～15:30					
泌尿器科	診察	田中学	田中学	田中学	田中学	田中学
	※午後外来受付 (金曜日のみ) 14:00～15:30					
精神科	初診	長岡幾雄	梶山浩明	長岡幾雄	草加耕司	梶山浩明
	再診	草加耕司	長岡幾雄	梶山浩明	草加耕司	当番医
	※再診の方は予約をお取りください。					
皮膚科	1 診	仁熊利之	仁熊利之	仁熊利之	仁熊利之	仁熊利之
	2 診	北野文朗				
	※午後外来受付 (月・水・木曜日のみ) 14:00～15:30					
麻酔科	1 診	久保田稔		久保田稔		久保田稔
	2 診	田村秀樹		田村秀樹		田村秀樹

* 印は午後外来診察あり。